

れいわ ねんど  
令和4年度

とみやし じぎょう ひょうか  
富谷市子どもにやさしいまちづくり事業評価

む ばん  
～子ども向け版～



ユニセフは「子どもにやさしいまちづくり事業 (CFCI)」を推進しています。  
2023年現在、開発途上国、先進国合わせて約40カ国の国がCFCIを積極的に実施し、3,000以上の自治体やコミュニティで、子どもにやさしいまちづくり事業は展開されています。

## ユニセフの「子どもにやさしいまち」は主にこんなまち



望むまちのあり方に意見を言える

質の高い教育が受けられる



暴力や虐待から守られる

まちを安全に歩くことができる

友だちと会い遊べる



安全な水や施設を使える



2021年12月に、富谷市は日本で「子どもにやさしいまちづくり」を実践する全国5か所のまちの1つになったピヨ!



# 富谷市子どもにやさしいまちづくりの取り組みについて

取り組みの一部を  
しょうかい  
紹介するピヨ♪



小学生の意見を聞いたり、小学生がまちづくりへの  
ていあん  
提案を行う取り組み

## 【“とみやわくわく子どもミーティング”の開催】

11月20日「世界こどもの日」に合わせて、市内  
のすべての小学校の代表者が意見を出し合う  
“とみやわくわく子どもミーティング”を行っ  
ています。市長が直接小学生の意見を聞いて市  
ちよくせつ  
の仕事に生かすことを目指しています。



## 【通学路にある橋の色を子どもの意見で決定】

子どもの意見を市の事業に生かす取り組みとして、  
都市整備課では富谷小学校学区にある橋の塗り  
せいび  
か  
替えにあたって、“橋の色は何色が良いか？”  
アンケートを行い、橋の色を決定しました。



中学生の意見を聴いたり、中学生がまちづくりへの  
提案を行う取り組み

## 【総合計画審議会への中学生の参加】

富谷市の総合計画（※）を検討する会議に、  
けんとう  
富谷市内の中学生がオブザーバーとして参加  
しています。




※総合計画：どのようにまちづくりをしていくか、  
市のすべての計画の基本となる計画  
きほん

## 【生徒会サミットの開催】

市内5つの中学校の生徒会役員が集まり、  
テーマにそって話し合い、意見を出し合  
う場です。  
令和5年度は「子どもにやさしいまちづ  
くり」をテーマに活発な話し合いが行わ  
れました。



# 「子どもにやさしいまち」って、どんなまち??



日本ユニセフ協会では、「<sup>けんりじょうやく</sup>子どもの権利条約」  
に書かれた<sup>けんり</sup>子どもの権利を満たすために、積極  
的に取り組むまちのことを「子どもにやさしい  
まち」というピヨ



<sup>けんり</sup>子どもの権利とは、子どもが「人間らしく幸  
せに生きられること（<sup>きほんてきじんけん</sup>基本的人権）」と「元  
気に成長できること」の両方がそろっている  
ことをいうよ

<sup>きほんてきじんけん</sup>基本的人権とは…  
<sup>そんげん</sup>人としての尊厳や<sup>かち</sup>価値が守られ、  
<sup>けんり</sup>幸せに生きるために必要な権利

## <sup>けんりじょうやく</sup>子どもの権利条約の4つの原則

### 【命を守られ成長できること】

すべての子どもの命が守られ、持って生まれた<sup>のうりよく</sup>能力を十分に伸  
ばして成長できるよう、<sup>いりよう</sup>医療、<sup>しえん</sup>教育、生活への支援などを受  
けることが<sup>ほしょう</sup>保障される

### 【子どもにとって最もよいこと】

子どもに関することが決められ、行われるときは「その子ども  
にとって最も良いことは何か」を第一に考える

### 【意見を表明し参加できること】

子どもは自分に<sup>こと</sup>関係のある<sup>こと</sup>事柄について自由に意見を表すことができ、  
おとなはその意見を子どもの<sup>こうりよ</sup>発達に応じて十分に考慮する

### 【差別のないこと】

すべての子どもは、子ども自身や親の<sup>こくせき</sup>人種や<sup>しやう</sup>国籍、性、意見、障がい、  
<sup>けいざいじやうきやう</sup>経済状況などどんな理由でも差別されず、<sup>じやうやく</sup>条約の定めるすべての<sup>けんり</sup>権利が  
<sup>ほしょう</sup>保障される



# 子どもにやさしいまちづくりの<sup>ひょうか</sup>評価って、どうやってるの??



本当に「子どもにやさしいまちづくり」ができているか、市役所の中の1つ1つの課で評価をしたよ。市役所全体で“自分たちの仕事ではできているかな?”と考えて、チェックをしたんだ。

そして会議をひらいて、評価やこれから取り組みたいこと「<sup>こうもく</sup>10項目」をチェックしたよ。

チェックにはユニセフが作っているチェックリストを使ったよ

## 10項目はコレ!

- ① 子どもの参画
- ② 子どもにやさしい<sup>じょうれい きそく</sup>条例や規則
- ③ 子どもにやさしいまちづくり<sup>せんりやく</sup>の戦略チェック
- ④ 子どもの<sup>してん ゆうせん</sup>視点を優先して考えるしくみ
- ⑤ 子どもへの<sup>えいきょう ひょうか</sup>影響とその評価
- ⑥ 子どもに関する予算
- ⑦ モニタリングチェック
- ⑧ 子どもの<sup>じんけん こうほう</sup>人権の広報活動
- ⑨ <sup>どくりつ しえん そしき</sup>独立した支援組織
- ⑩ 子どもにやさしいまちづくり<sup>せんげん</sup>宣言5つの柱

## 富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言

### 5つの柱

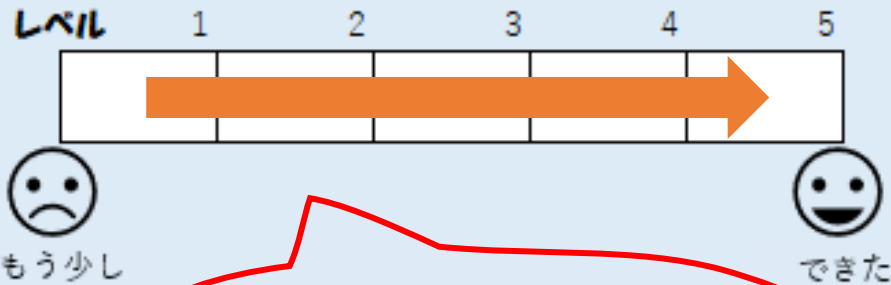
- 1 子どもが大切に育てられ健やかに成長できるまち
- 2 子どもが安心安全に暮らすことができるまち
- 3 子どもが友だちと交流し、楽しく遊び学べるまち
- 4 子どもが地域社会の絆の中で役割を持ち、生き活きと参加できるまち
- 5 子どもの意見を聴き、まちづくりに活かすまち

# ひょうか 評価の結果って、どう見ればいいの??



ひょうか  
評価の結果はどこを見たら分かるのかな?

ひょうか  
評価はこんなふうに表しています。  
子どもにやさしいまちづくりに取り組んでいるほど、  
数字（レベル）が上がるよ!



去年よりレベルアップしたものには

**レベルアップ!** のマークがあるよ。

次のページからは、  
ひょうか しょうかい  
評価がどうだったのか紹介します!

ひょうか  
評価のレベルは...

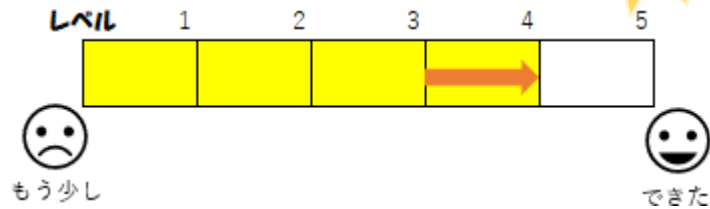


# ① さんかく 子どもの参画 （子どもの意見を聞くための積極的な取り組み）

ひょうか  
令和4年度の評価

4

レベルアップ!



## 【今回の評価ひょうかになった理由】

市の計画を作る時に子どもの意見を聞く取り組みとして、じったい はあく ちょうさ 実態把握調査（今の状況じょうきょうを知るための調査ちょうさ）を行うときに“子どもの意見を聞いて回答してください”とのお願いを書いてアンケートを配りました。子どもの意見を聞く取り組みがふ増えたため、昨年のレベル3からレベル4にレベルアップしました。

## 【これから取り組みたいこと】

子どもの意見を尊重そんちょうすることについて、もっと多くの人に知ってもらうための方法について考えていきます。子どもと接せつすることを仕事けんしゅうにしている大人に対しての研修けんしゅうの中でも、子どもの意見を大切に聞くことを伝えていけたら良いな…と思っています。

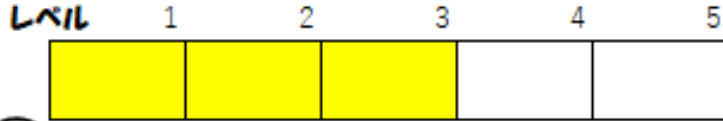
子どもの意見を大切に聞くには研修会



## ② 子どもにやさしい法的枠組み ほうてきわくぐ（子どもの権利を守るためのルールや仕組み）

令和4年度の<sup>ひょうか</sup>評価

3



もう少し



できた

### 【今回の<sup>ひょうか</sup>評価になった理由】

教育に関する計画の中に、子どもの権利条約の4つの<sup>けんり じょうやく</sup>原則を<sup>げんそく きさい</sup>記載しました。いろいろな課での計画の見直しのときには、市役所の<sup>しやくしょ しょくいん</sup>職員だけでなく市民などの第三者にも参加して意見を出してもらっています。



どんな方法が良いかな？



### 【これから取り組みたいこと】

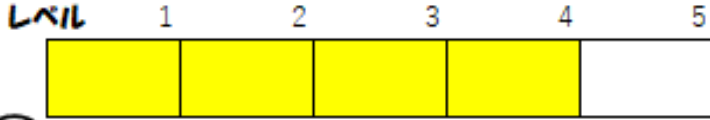
計画や条例、規則などを<sup>じょうれい きそく</sup>作る、もしくは見直すときには、子どもの<sup>けんり じょうやく</sup>権利条約の4つの<sup>げんそく はんえい</sup>原則が反映されるように市役所全体で<sup>いしき</sup>意識していきます。また、子どもたちの<sup>けんり</sup>権利が守られなかったときに、子どもが出してくれたSOSをキャッチする方法について、引き続き考えていきます。



### ③ <sup>じんけん</sup> <sup>ほしょう</sup> <sup>せさく</sup> 子どもの人権を保障する施策（子どもにやさしいまちづくりをするための方法が書かれた 決まりや計画）

令和4年度の<sup>ひょうか</sup>評価

4



もう少し

できた

“総合計画”ってものを知って  
もらえるように、みんなのお家  
に配ったりしているピヨ



#### 【今回の<sup>ひょうか</sup>評価になった理由】

<sup>そうごう</sup>市総合計画に子どもにやさしいまちづくりの<sup>してん</sup>視点を入れており、<sup>はばひろ</sup>幅広く子どもにやさしいまちづくりを進めていこうという計画を立てています。また、子どもにやさしいまちづくり<sup>じっせん</sup>実践行動計画という計画を立てて、より具体的な目標を<sup>せってい</sup>設定しました。

#### <sup>そうごう</sup>総合計画

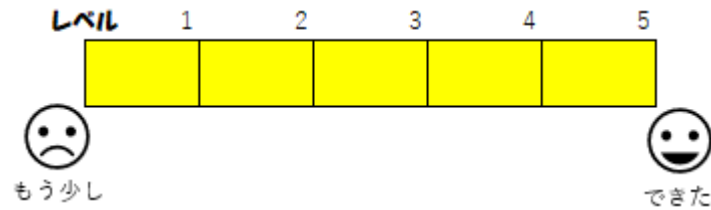
どのようにまちづくりをしていくか、市のすべての計画の<sup>きほん</sup>基本となる計画。子育てのことから<sup>としよ</sup>お年寄りの<sup>しえん</sup>支援、<sup>かんきょう</sup>環境に関すること…富谷のいろんな分野のことが書かれているよ。

#### 【これから取り組みたいこと】

市役所内の計画などを作るときには、子どもが<sup>えいきょう</sup>影響を受ける<sup>かのうせい</sup>可能性があることについて、子ども自身が意見を言えるような機会を作っていきたいと考えています。

## ④ じんけんぶもん 子どもの人権部門 きこう または調整機構 じんけん（子どもの人権や子どもにやさしいまちづくりを進めていく仕組み）

令和4年度の<sup>ひょうか</sup>評価 **5**



会議を開いて、子どもにやさしいまちづくりをどう進めていくか考えているよ。



### 【今回の<sup>ひょうか</sup>評価になった理由】

子どもにやさしいまちづくりを進めていくために、ルールを決めて会議を開くことを続けています。令和4年度には、“いつまでに” “どんなことを” やっていきのかを考え、富谷市子どもにやさしいまちづくり<sup>じっせん</sup>実践行動計画を作りました。

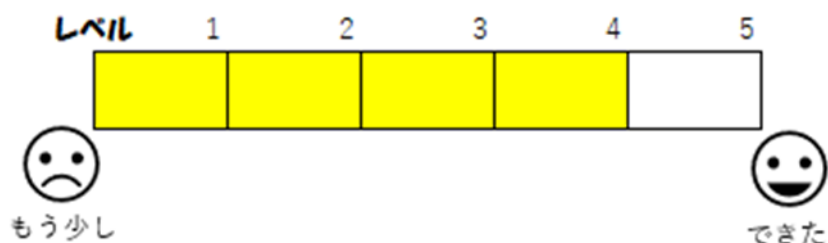
### 【これから取り組みたいこと】

これからも会議を開いて子どもにやさしいまちづくりについて考えていく仕組みを続けていきます。

<sup>じっせん</sup>実践行動計画で立てた目標が達成できているかというチェックも行っています。

# ⑤ えいきょうひょうか子どもへの影響評価（ほうりつ子どもに関わる法律や取組みについて、えいきょう ひょうか子どもへの影響を評価する手続き）

令和4年度の<sup>ひょうか</sup>評価 **4**



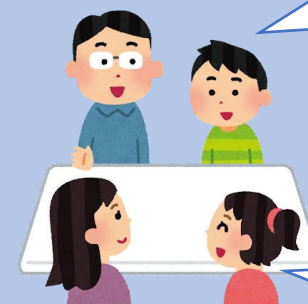
## 【<sup>ひょうか</sup>今回の評価になった理由】

令和4年度も、市の<sup>そうごう</sup>総合計画について考える会議に中学生がオブザーバーとして参加しています。その他にも、健康づくりの事業でも中学生から意見を出してもらっています。

市の仕事<sup>えいきょう</sup>が子どもたちに与える影響について、子どもにやさしいまちづくりの<sup>ひょうか</sup>評価や行政実績報告書（市の仕事<sup>ぎょうせいじっせきほうこくしょ</sup>がどのくらい行われたかを<sup>ほうこく</sup>報告するもの）などで<sup>ひょうか</sup>定期的に評価しています。

## 【これから取り組みたいこと】

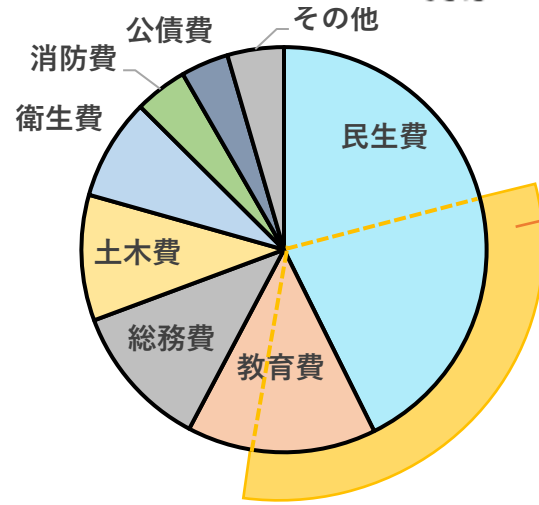
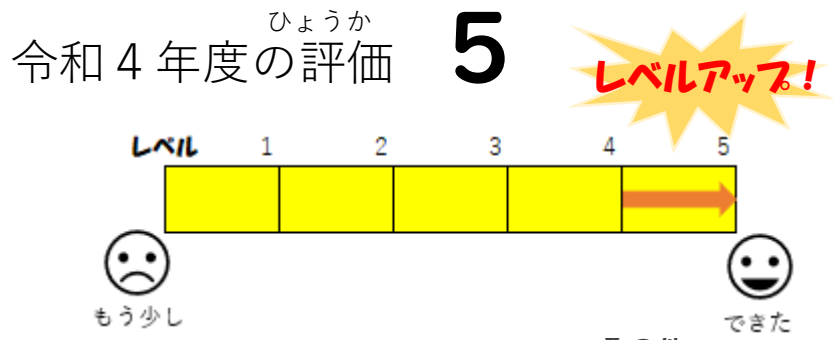
令和5年度以降に、次の計画を作るために幅広<sup>はばひろ</sup>く意見を聞く予定になっているものがあります。そのときには、子どもへの<sup>えいきょう</sup>影響についてしっかりと考えていきます。



どうしたら、ほくたちも一緒に評価に参加できるかな？

わたしたちの意見も聞いてもらいたいね。

# ⑥ 子どもに関する予算（子どものために使われる予算とそのお知らせ）



【今回の評価になった理由】

令和5年度の予算を決める時に「子どもにやさしいまちづくり実践予算」として編成しました。地域の人と行う会議のときに、子どもに関する予算を分かりやすくグラフにしてお知らせしたことで、昨年のレベル4から5にアップしました。

「子どもに関する予算」

民生費: 保育所で使うお金  
病院を受診した時の費用 など

教育費: 学校給食に使うお金  
教育支援センター「ぽんぽこ広場Tomiya」で使用する費用 など

子どもに関する予算は全体の37%あるピヨ

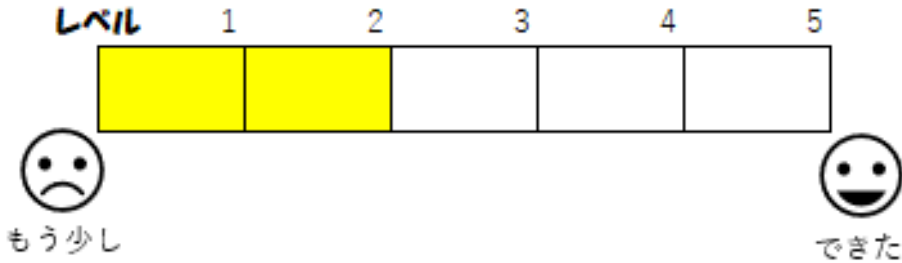
【これから取り組みたいこと】

今年のレベルアップにつながった取組みを、これからも続けていきます。

子どもに向けて予算のことを分かりやすくお知らせできるように、その方法を考えていきます。

# ⑦ ほうこくしょ子ども報告書の定期的発行（子どもたちに関する情報のじょうほうモニタリングとデータ収集しゅうしゅう）

令和4年度ひょうかの評価 **2**



## 【今回の評価ひょうかになった理由】

「子ども報告書ほうこくしょ」は作っていませんが、教育や福祉ふくしの課を中心に、子ども達に関する情報じょうほう（データ）を集めていたり、公表したりしています。

このデータは、子どもたちのための仕事の参考になるなあ…  
もっと知ってもらいたいな。

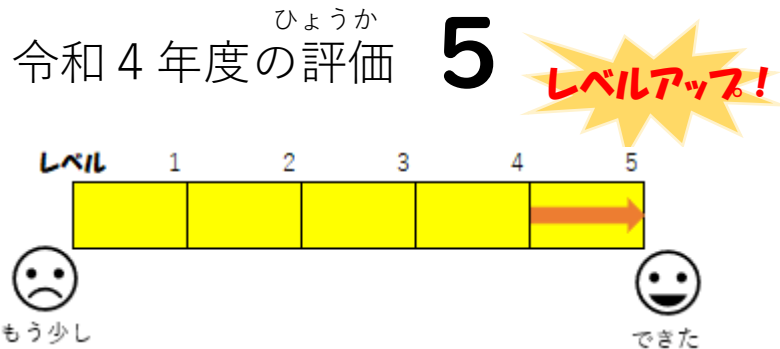
## 【これから取り組みたいこと】

いくつかの課で持っている子ども達に関する情報じょうほう（データ）が市の仕事に活用されやすいような仕組みづくりについて考えていきます。

計画や事業を考えるときには、子どもに関するデータを活用したり、どんな方法で子どもの意見や満足度を聞いたら良いか考えていきます。



# ⑧ 子どもの人権の広報（子どもにも、大人にも、子どもの人権について知ってもらう取り組み）



大人も子どもも、子どもの権利や人権について勉強しているよ

## 【今回の評価になった理由】

人権ようご委員と協力したり、学校のプログラムに入れたり研修を行ったりして、子ども達自身や子どもと過ごすことの多い大人（先生など）にも子どもの権利や人権について学んでもらっています。子どもの人権について知らせたり、その尊重を大切にする取り組みが広まってきているため、昨年のレベル4から5にアップしました。

## 人権ようご委員

地域のみなさんから人権の相談を受けて、問題解決のお手伝いをしたり、人権について関心を持ってもらうような取り組みをしているよ。  
例えばいじめや虐待、家族の暴力等の相談にのることができるよ。

## 【これから取り組みたいこと】

市役所で働く人を対象に、子どもの権利についての研修を行いたいと考えています。また、子どもに関わる市の仕事を行っている団体にも子どもの人権について知ってもらえるような機会を持ちたいと考えています。

# ⑨ 子どものための<sup>どくりつ</sup>独立したアドボカシー（子どもの<sup>けんり</sup>権利を<sup>じつげん</sup>実現するために活動する<sup>だんたい</sup>団体の<sup>おうえん</sup>応援）

ひょうか  
令和4年度の評価

4

レベル 1 2 3 4 5



もう少し



できた

## NPO法人

<sup>えいり</sup>営利目的ではなく、たくさんの人が楽しんだり、学んだり、安全に暮らすこ  
とができるような活動をする<sup>だんたい</sup>団体のこと。

## 【今回の<sup>ひょうか</sup>評価になった理由】

児童クラブの<sup>うんえい</sup>運営をNPO法人や企業に<sup>きぎょう</sup>委託し  
たり、<sup>しょう</sup>障がいを持つ子の<sup>しえん</sup>支援をするNPO法人  
や事業所と協力できる仕組みを作っています。  
その他にも、<sup>さいがい</sup>災害時の<sup>びちく</sup>備蓄食料の<sup>ていきょう</sup>提供について  
<sup>きぎょう</sup>企業などと協力することを約束していたり、ス  
ポーツに関する<sup>だんたい</sup>団体等と<sup>れんけい</sup>連携できる<sup>たいせい</sup>体制も作っ  
ています。

<sup>いっしょ</sup>色々な団体と一緒に  
まちづくりをしているよ

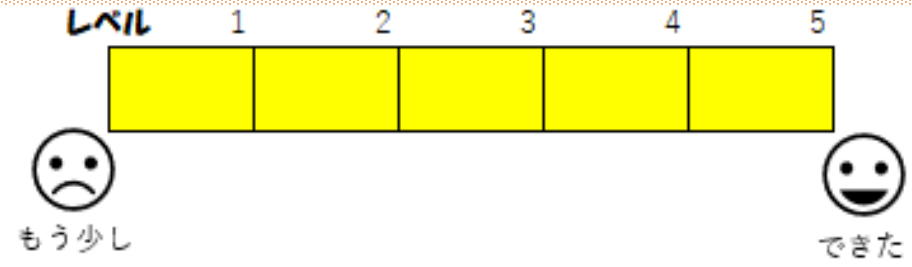
## 【これから取り組みたいこと】

これからも市役所全体で、<sup>きぎょう</sup>企業やNPO法人との<sup>はってん</sup>パートナーシップを<sup>はってん</sup>発展させていきます。また、子  
どもや若者がメインで活動する<sup>だんたい</sup>団体に対しては、その<sup>おうえん</sup>活動を<sup>おうえん</sup>応援する方法を考えていきます。



⑩子どもにやさしいまちづくり宣言の5つの柱の取り組みはできていますか？ ※富谷市オリジナル

令和4年度の<sup>ひょうか</sup>評価 **5**



【今回の<sup>ひょうか</sup>評価になった理由】

市役所全体で積極的に行われています。

<子どもの<sup>はんえい</sup>意見を反映した取り組み>

わくわく子どもミーティングで出された意見も参考とした、公園のトイレの洋式化に向けた取り組み

<子どもが大切に育てられ健やかに成長するための取り組み>

病院を<sup>じゅしん</sup>受診した時に必要なお金の<sup>いりょうひ</sup>助成（こども医療費・<sup>よぼうせっしゅ</sup>予防接種など）、学校給食費の<sup>ひ</sup>無償化に向けた取り組み

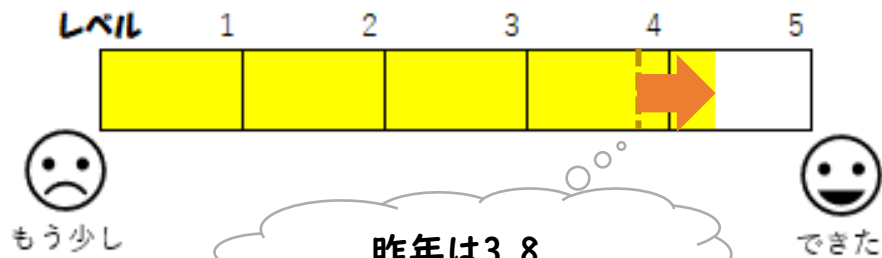
<<sup>ちいき</sup>地域活動に関わる取り組み>

学校の学習で使用する社会科副読本のデジタル化に向けた取り組み

【これから取り組みたいこと】

これからも富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言の5つの柱を<sup>せんげん</sup>意識して、<sup>いしき</sup>取り組みを続けていきます。特に安心安全な暮らしについては、すべての子どもが安心して安全に<sup>く</sup>暮らせるための取り組みを続け、もっと良い方法についても考えていきます。

ひょうか  
1から10の項目の評価を平均すると・・・



ひょうか  
今年の評価は **4.1** となりました！

レベルアップ！

市の計画に子どもの権利<sup>けんり</sup>について書いてあるものができたり、  
子どもの意見が大切にされるようにな仕組みづくりが少しずつ  
つ進んでいるんだね。



子どもが意見を出したりする“子どもの権利<sup>けんり</sup>”に  
ついて、みんなが知ることも大切だね。

大人だけじゃなく、子どもも一緒に富谷のまちを作っ  
ていく「子どもにやさしいまちづくり」が、もっとみんな  
に広まっていくようにみんな考えていきたいピヨ！





# 最後まで読んでいただき ありがとうございました



この「富谷市子どもにやさしいまちづくり事業 令和4年度<sup>ひょうか</sup>評価～子ども向け<sup>ばん</sup>版～」は  
子どもにやさしいまちづくり事業<sup>すいしん ちょうない れんけい</sup>推進庁内連携会議事務局にて作成しました。

<sup>さっし</sup>この冊子への<sup>いけん</sup>ご意見や<sup>かんそう</sup>ご感想は

<sup>とみや しゃくしょ</sup>富谷市役所 <sup>こそだ しえん か</sup>子育て支援課

富谷坂松田30番地  
☎022-358-0516

<sup>こそだ しえん</sup>とみや子育て支援センター

または

明石台七丁目2-1  
☎022-343-5528

まで、お寄せ<sup>よ</sup>ください。